

演奏者紹介

ゲオルギー・ロマコフ (チェロ)



ウクライナ生まれ。8歳でウズベキスタン国際コンクールで優勝。12歳でクロアチアのA.ジャニグロ・コンクールで優勝。直後からドイツでR.ファウベルの元で研鑽を積む。ユーгент・ミュージエルト優勝、チェコのヘラン国際コンクール優勝。ミュンヘン国立音楽大学、アメリカのニュー・イングランド・コンセルヴァトリーを最高点で卒業。留学中テキサスで協奏曲デビュー、またヨーロッパ各地でも数々のリサイタルを行う。これまでにニュルンベルグフィルハーモニー交響楽団、ニュルンベルグ・シンフォニカー、ハーゲンフィルハーモニー交響楽団、リチャードソンフィル交響楽団、ベルンのロマンド室内交響楽団、ミュンヘンのブルーテンブルグ室内交響楽団、マグデブルグ交響楽団、ポーランドのポモルスカ交響楽団等と共演。ブラームス国際コンクールにてデュオで優勝。ハレル、ホフマン、ロストロポーヴィッチらに「巨匠の器」と賞賛を得る。この夏には東京池袋の芸術劇場にてオーケストラとの日本初共演も決っている。

古賀敦子 (フルート)



桐朋学園高校、パリ国立高等音楽院、ミュンヘン音楽大学を卒業。ブカレスト、パリ・ルーテス、パリ・クリューネルの各国際コンクールで優勝。マリア・カナルス国際コンクール2位、他多数受賞。ヨーロッパ各地でリサイタルを行う。ホフ交響楽団、ワイマール国立歌劇場の副主席を経る。2001年よりマグデブルグフィルハーモニー交響楽団のソリストをつとめ、テレビ、ラジオに多数出演。同交響楽団、ミッテルドイツ室内交響楽団、ヴィラムジカ楽団、パリ CNSM 管弦楽団、ブカレスト交響楽団、九州交響楽団等と共演。2007年からシリーズでソリストとしてドイツの各地30箇所以上でロッシニカルテット、アンサンブルと共演。ソロリサイタルに対し最優秀演奏賞を贈呈され、ヨーロッパ各地のフェスティバルに呼ばれる他、また、ドイツの Genuin, ポーランド Anagram から6枚のCDをリリース。2018年にはブルガリアのソフィアソリスト、ガブロボ交響楽団とも共演デビューし大好評を得た。

ラドスラフ・クレック (ピアノ)



ポーランドのピアニスト。グダニスクの音楽アカデミーにてカタジナ・ポポヴァ・ジドロノ女教授のクラスに通い栄誉賞を得て卒業。2008年から2009年までは彼女のクラスの助教授も務めた。数多くのピアノと室内楽のコンクールで受賞し、2001年からこれまでにエストニアでのショパンピアノコンクールで3位、ブルガリアのヴラディゲロフ国際ピアノコンクールで4位、ポーランドの室内楽コンクールで優勝、イタリアの“ヴィットリオグイ”国際室内楽コンクールでファイナリスト、そして、2008年にはオーストリアのブラームス国際コンクールで、ロマコフとのデュオで優勝。2012年にはダブリン・ピアノコンクールでモーツァルト作品のベストプレイヤーとして“ブリジット・ドゥーラン特別賞”受賞。現在ビドゴシチ アカデミー音楽院で教えつつ、世界各国でソリストとして、室内楽奏者として定期的にリサイタルを行う。CDも数多い。

九州キリスト教会館アクセス*4F 礼拝堂

住所

福岡県福岡市中央区舞鶴2-7-7

アクセス

地下鉄 空港線:「赤坂駅」下車3番出口より徒歩7分

バス:「法務局前」又は「舞鶴1丁目」下車徒歩3分

「大名2丁目」下車徒歩5分(明治通り)

駐車場がありませんので、公共の交通機関をご利用いただくようお願いいたします。

